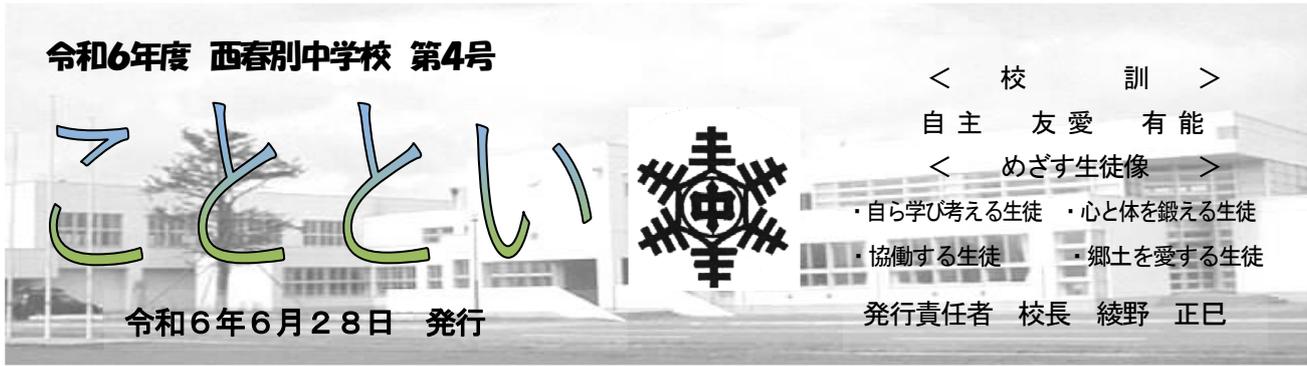


言問い(こととい)：50周年記念植樹イチイに命名されたものです。



ウェルビーイングとは？！

西春別中学校長 綾野 正巳

昨今、健康や幸福を指すウェルビーイングという言葉に注目が集まり、耳にする機会も増えているのではないのでしょうか。昭和生まれの人間にとっては、また「わけのわからない横文字が出てきた！」と愚痴をこぼしたくなりますが、、、。

実は、ウェルビーイングと言う言葉が最初に出てきたのは、WHO（世界保健機関）の設立時（1946年）で、その憲章の中で使われていたそうです。その時は、あまり注目されていませんでしたが、2015年に国連で定められた持続可能な開発目標であるSDG'sで17のゴールが設定され、その目標の1つであるゴール3「すべての人に健康と福祉を（Good Health and Well-being）」の中でウェルビーイングが目標として設定されたことにより、この言葉が脚光を浴び、広く用いられるようになりました。

ウェルビーイングとは、

個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的、経済的に良好な状態にあること。

一時的・瞬間的ではなく、良好な状態を**維持**できることに、その特徴があります。

「幸せ」とウェルビーイングの違いは？

- ・ happiness = より短期的で個人的な状況評価・感情状態
- ・ Well-being = より包括的で、個人のみならず個人をとりまく「場」が持続的によい状態であること
* 「学校」は子ども達にとって大切な「場」の1つです。「生徒のウェルビーイング」「学校（教員）のウェルビーイング」については、次号で紹介します。

ウェルビーイングの深化（学校）

- ・ 今が楽しい（個人・現在）
- ・ これからの将来に希望をもてる（個人・将来展望）
- ・ クラスや地域の人々の幸せを願う（社会・共生）
- ・ この町・学校・世界を良くしていきたい（利他性・公共・持続）

自分の生きる道だけではなく、家族や友人、自分の住む街・国が、どのようにすれば「良い状態」でいられるのかについて考えることが大切だと言われます。



新しい言葉が出てきたからといって、踊らされて何か新しいことを行うわけではありません。まずは、今まで実践してきた取組を整理し、そのねらいを再確認して、系統性を明確にした計画にしていくことです。そして、改善しながら持続させていくことが大切だと考えています。



校舎外清掃に汗を流す姿、先日行われた小学校の運動会を手伝う姿は、まさに社会、地域に目を向けたウェルビーイングを具現化している姿であり、本校のめざす「協働する生徒」「郷土を愛する生徒」の育成につながっています。

そして何より、いつも真剣に取り組む西春別中の生徒達は、本当に素晴らしい！この良き伝統をしっかりと**維持**していきます。